

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/09/25

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.11	0.25
JPY/THB	0.2156	-0.0001
USD/JPY	148.90	1.26
EUR/THB	37.68	0.05
EUR/USD	1.1738	-0.0077
USD/CNH	7.137	0.024
SGD/THB	24.91	0.09
AUD/THB	21.13	0.11
USD/INR	88.70	-0.06
USD Index	97.87	0.61

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.167	0.002
10Y (THB)	1.355	0.007
5Y (USD)	3.717	0.049
10Y (USD)	4.147	0.041

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,735.0	-49.2
WTI (Oil)	64.99	1.58
Copper	10,336.5	362.0

Stock

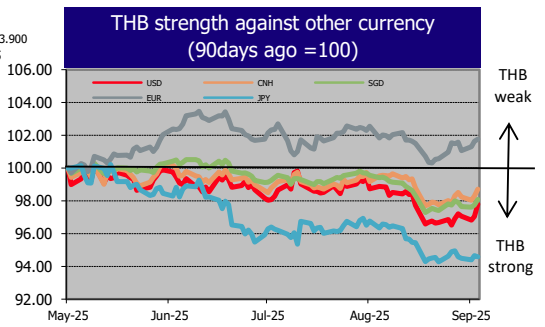
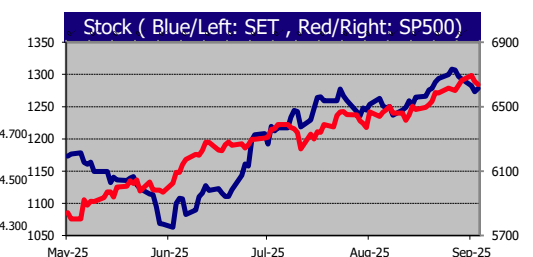
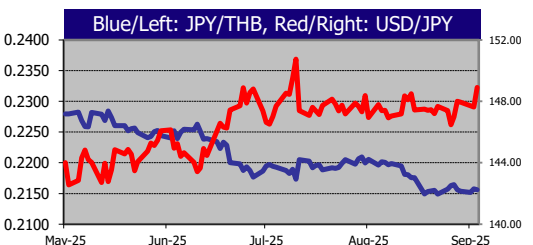
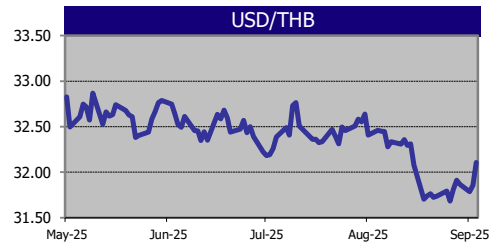
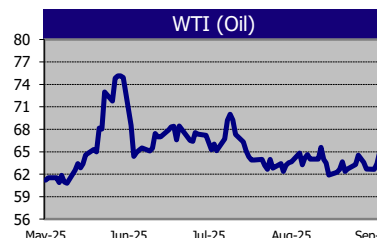
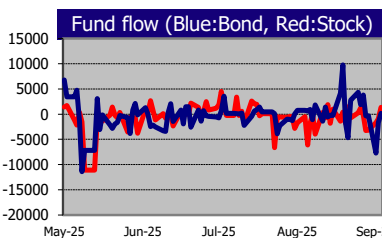
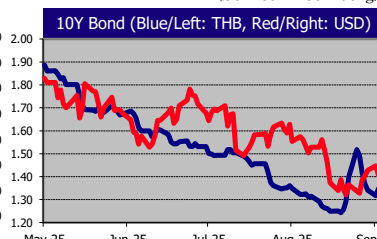
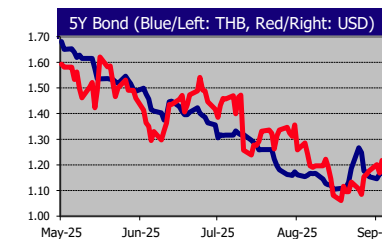
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,278.41	5.21
NIKKEI (JP)	45,630.31	136.65
DOW (US)	46,121.28	-171.50
S&P500 (US)	6,637.97	-18.95
SHCOMP (CN)	3,853.64	31.81
DAX(GER)	23,666.81	55.48

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,327	2257.4
Bond net flow	144	1756.7

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルベース

昨日のドルベースは31.90ベース前半で取引開始し、欧州時間入りにかけてもみ合いながらのドル買いの展開で31.90ベース前半ばまで上昇。欧州時間午前には32ベースを抜けるドル全面高となった後、午後は動き少なく推移し、同水準でNY時間に渡った。米金利の上昇に伴ったドル買いが優勢となり、ドル建ての大型社債発行が相次いだことも支援材料となったか、32ベースを抜け午後も高値圏での推移が続き、そのままの水準で取引終了。

●ドル円その他

アジア時間のドル円は147円台後半で取引開始するとドル買い優勢の展開。午後には失速していた日経平均が再び上昇に転じるなど、リスクオンとなりドル円も上昇、148円を抜けて欧州時間に渡った。その後もドルは引き続き全面高で、148円台前半ばまで上昇。NY時間に入ると、米金利の上昇に伴ったドル買いが優勢となり、148円台後半まで上昇し、午後も高値圏での推移が続き、そのままの水準で取引終了。

Bangkok Dealer's Eye

今週前半はベースも円も材料難のなかで方向感のない動きとなっていたが、昨日は米新築住宅販売件数の堅調な結果や、米国での大口起債報道等が米金利上昇につながり、幅広い通貨に対してドル買いが進行。今週の円は比較的強含んでいたほうだったが、先週の中銀ウィークで日米金融政策格差が改めて確認された割にはその勢いは続かず、昨日は対ドルで2週間ぶりの安値水準まで売り戻されている。円が崩れやすい背景には、円キャリー取引の再興や政治情勢の先行き不透明感などがあろう。今週、来週と自民党総裁選に向けた候補者の発言が伝えられる度に円相場が不安定になる展開は続きそうだ。タイに目を向けると、昨日は8月の輸出入データが発表されており、輸出（前年比）が11か月ぶりの低い伸びにとどまったことが話題となった。これまでは関税引き上げを前にした米国の駆け込み輸入需要がタイ輸出を押し上げてきた節もあったため、いよいよ潮目が変わった可能性に留意が必要か。輸入については予想を大幅に上回る伸びだったことから、8月の貿易収支は赤字へ転落。また、昨日はタイ政府観光庁が、国慶節の中国からの旅行者が前年比24%減少するとの見通しを明らかにしている。こうした関税や観光収入を通じたベース需給環境の変化が、今年長らく続いたベース高相場に終止符を打つ契機となるか。ここからのベース相場の値動きは、トレンドが変わるシナリオも意識しつつ注視していきたい。（吉田）

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.